

第2回WSISで注目を集めた NTTコムウェアの最新研究成果

2003年12月の第1回に続いて2回目となる世界情報社会サミット（WSIS）が、去る11月15日から19日までチュニスで開催された。サミット本会議と並行して開催されたサミットイベントにおいて、NTTコムウェア研究開発部の最新研究成果が、VIP、メディアを始め多数の参加者の注目を集めた。以下、大人気・大好評のNTTコムウェアブースの概況を紹介する。

第2回WSISがチュニスで開催 NTTコムウェアがイベント参加

2003年のジュネーブ開催に続いて第2回目となる世界情報社会サミット（WSIS）は、国連行事として世界176カ国以上から約23,000人が参加し、50カ国から情報通信大臣や元首等が参加し、2005年11月15～19日の5日間、チュニジア共和国のチュニスで開催された。今回のサミットには、日本政府から竹中平蔵総務大臣及び総務省の有富寛一郎総務審議官が出席、竹中総務大臣が11月17日に日本政府を代表して本会議で演説した。またサミット本会合と並行してサミットイベント“ICT 4 all”が開催された。日本のサミットイベントは①Exhibition、②Workshopの2つから構成され、総務省が主催し、「ユビキタスネット社会の実現」という共通コンセプトに基づくイベントとして開催された。

総務省主催の日本パビリオンには、NTTコムウェアのほか、NTT持株会社、NTTコミュニケーションズ、NTTドコモ、KDDI、シャープ、独立行政法人情報通信研究機構（NICT）、東海大学、東芝、NEC、



写真1 ジャパン・イベントの紹介パンフレット



写真2 3D映像のリアルさに感嘆する竹中総務大臣

NHK、日立製作所、松下電器が出展。NTTグループ4社は連携して展示した。

大人気・大好評の NTTコムウェア展示ブース

NTTコムウェアのブースでは、以下の最新研究成果が展示された。

- Tangible Business Process Analyzer
- Inventory Management System using RFID
- Live 3D Scenography Delivery System
- Media Mix TV
- Digital Pen Gateway
- L-Box マンションセキュリティ

• Differential Analysis System for Bioinformatics

今回は、前回に比べて入場者が圧倒的に多く、ICT 4 allの中でも他と比べて最先端技術を展示した日本パビリオンの中でもNTTコムウェアのブースは常に黒山の人だかりで、今後のビジネスにつながる引き合いも多数得られたという。

Live 3D Scenography Delivery Systemで実際に3D映像を見た竹中総務大臣は、「こいつはすごいな。本当にそこにいる人間の立体映像が、Liveで画面から浮き上がって見える。」と感嘆していたという。

「NGNを意識したNTTコムウェアのダイナミックなデモンストレー

ションは際立って目立っており、各国の首脳や大臣などITの専門家でない方々や、メディアに対してもNTTコムウェアのITの威力をアピールすることができました。」(NTTコムウェア取締役・研究開発部長 加瀬一朗氏)

モルジブの通信大臣等もNTTコムウェアの技術を見学し、感心していたという。

また今回の展示は、海外のみならずNTTグループ幹部や総務省の幹部、日本からのVIPにもNTTコムウェアのR&Dのプレゼンスをアピールする絶好の機会となったようだ。NTT持株会社の山田隆持副社長は、Tangible BPAを熱心に見学。総務省の石田直裕国際部長は、紙に書いた物がそのまま電子化され、即Web上で確認できるDigital Pen Gateway技術に大変興味を示していたという。

また、ITUの内海善雄事務総局長、総務省のWSIS親善大使を務めるNHKの道傳愛子アナウンサー、NHKの今井義典解説主幹もNTTコムウェアのブースを来訪したほか、村上輝康野村総合研究所理事長、青山友紀東大教授も来訪し、NTTコムウェアの技術に感心していたという。

さらに、総務省主催のワークショップでは“Toward the realization of a ubiquitous network society”



写真3 Digital Pen Gatewayの説明を熱心に聞くモルジブの通信大臣



写真4 チュニアのTV局の取材を受けるNTTコムウェアの加瀬取締役



写真5 Tangible BPAを見学するNTT持株会社の山田副社長(右)



写真6 Digital Pen Gatewayに興味を示す総務省の石田国際部長(左)



写真7 RFIDのデモを見学するITUの内海事務総局長(中央)



写真8 NGNについて発表するNTTコムウェアの加瀬取締役(中央)

というテーマでパネルディスカッションが行われ、先進国と途上国間のデジタルデバイドを如何にして排除するか、如何にしてユビキタス社会を豊かにするかについて活発な議論がなされた。このワークショップに

日本を代表するパネラーのひとりとして加瀬取締役が出席し、「NTT Comware's Approach to Reduce Digital Divides through R&D Toward NGN」について発表した。

写真提供：NTTコムウェア研究開発部